

特許協力条約

PCT

REC'D 17 NOV 2005

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 ST 2354-PCT	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/12791	国際出願日 (日.月.年) 06.10.03	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ D06F19/00, B08B3/12		
出願人（氏名又は名称） 株式会社スター・クラスター		

1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>1</u> ページである。 <input checked="" type="checkbox"/> 指定されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照) <input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙 b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
<input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の單一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT35 条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 28.04.05	国際予備審査報告を作成した日 25.10.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 山田 由希子 電話番号 03-3581-1101 内線 3332
	3K 3224

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- 出願時の言語による国際出願
- 出願時の言語から次の目的ための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
 国際公開 (PCT規則12.4(a))
 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

- 出願時の国際出願書類

- 明細書

第 1-1 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

- 請求の範囲

第 2 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT 19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1 _____ 項*、07.10.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

- 図面

第 1-7 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

- 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 补正により、下記の書類が削除された。

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 3 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表 (具体的に記載すること) _____
 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表 (具体的に記載すること) _____
 配列表に関するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1, 2	有
	請求の範囲 _____	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 _____	有
	請求の範囲 1, 2	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 1, 2	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：JP 2000-325686 A (株式会社マイクロ・ギャラクシー)
2000. 11. 28 , 段落番号【003.5】-【004.3】，
第1-2図

文献2：日本国実用新案登録出願54-11241号（日本国実用新案登録出願公開
55-110181号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影した
マイクロフィルム（シャープ株式会社） 1980. 08. 02 ,
全文， 第1-2図

文献3：JP 10-57913 A (アクトファイブ株式会社)
1998. 03. 03 , 段落番号【001.4】， 第1図

文献4：JP 6-335599 A (宮田 幸男)
1994. 12. 06 , 段落番号【002.3】， 第1図

請求の範囲1に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1～3と新たに引用した文献4とにより進歩性を有しない。文献1に記載されている衣類を超音波洗浄する方法において、文献3に記載されているように、洗浄液を脱気しながら、超音波洗浄を行うようにして、さらに、文献2に記載されているように、被洗浄物を洗浄用カゴに区分けし、複数の槽の内部に洗浄用カゴを順次移送するようにし、その際に、文献4に記載されているような入り口部、出口部、シャッター機構等を用いて、請求の範囲1に係る発明のようにすることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲2に係る発明は、文献1～4により進歩性を有しない。洗浄用カゴへの被洗浄物の収納方法を請求の範囲2に係る発明のようにすることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲

1. (補正後) 衣類等を超音波洗浄する方法であって、衣類等を複数種類の洗浄用カゴに区分けして収納する工程と、各洗浄用カゴを前処理槽の側面の入り口部を通して前処理槽内に投入して真空引きすることにより、衣類等の隙間に含まれる空気等の気体を除去した後、前処理槽内に脱気した洗浄液を導入する工程と、前処理槽内の洗浄用カゴを前処理槽の側面の出口部、及びシャッター機構、及び洗浄槽の側面の入口部を通して洗浄槽内に移送した後、洗浄槽内の洗浄液を循環させつつ脱気し、同時に超音波洗浄する工程と、洗浄槽内の洗浄用カゴを洗浄槽の側面の出口部、及びシャッター機構、及び後処理槽の側面の入口部を通して後処理槽内に移送して液切りを行う工程を備え、前記それぞれのシャッター機構には、洗浄液や空気の流通を遮断しつつ洗浄用カゴを通過させることのできるパッキン部材と遮蔽部材が設けられていることを特徴とする衣類等の超音波洗浄方法。
2. 前記複数種類の洗浄用カゴは、少なくとも、ハンガにかけた衣類等を縦向きに吊下げて収納するカゴと、ハンガにかけた衣類等を横向きに重ねて収納するカゴの二種類を含むことを特徴とする請求項1に記載の衣類等の超音波洗浄方法。
3. (削除)